

南房教会市民講座

「内村鑑三の進路を変えた布良の神田吉右衛門翁」

話し手 平本 紀久雄氏

とき 2013年2月17日(日) 午後2時から4時まで

ばしょ 日本キリスト教団南房教会(館山市上真倉の丘の上の教会)

館山市布良は、かつてマグロ漁とアワビ漁で栄えたところです。明治期に布良を日本一の漁港にした立役者・神田吉右衛門翁(1834~1902)は、単に漁業家であったばかりでなく、類まれな道德家・教育者・政治家でした。

その一つが、当時弱冠29歳の水産伝習所(現在の東京海洋大学の前身)の青年教師だった内村鑑三に大きな影響を与えたことです。神田翁の一言によって、内村は意を決して辞表を出し、水産技師から宗教家・思想家の道に進みました。

内村鑑三は、明治・大正・昭和初期の日本史に名を残した有名なキリスト教伝道者・思想家です。彼は生前、一高不敬事件・足尾銅山鋳毒事件批判・日露戦争に対して絶対非戦論を展開し、台頭する軍国主義や独占資本主義による環境破壊をするどく批判しつづけ、早くから軍国日本の破滅を預言しました。

そして敗戦後、内村の愛弟子の南原繁や矢内原忠雄たちが戦後日本の民主主義の牽引者となったのです。

今回は、神田吉右衛門翁の類まれな人格と地元へのこした多くの業績について学び、あわせて演者の地域おこし(地元学)の一端をお話します。

また、南房教会の主日礼拝で、演者自身の「証し」も含めて同じテーマでお話します。

とき 2013年1月27日(日) 午前10時30分~11時40分

奨励 平本紀久雄役員「内村鑑三の進路を変えた布良の神田翁」



日本キリスト教団 南房教会
牧師 原田史郎 原田多恵子
館山市上真倉1958
(R410 相生橋バス停そば)
Tel 0470-23-9910